

令和元年12月 斐伊川水系水質情報

令和元年12月(宍道湖:10日・中海:9日採水)								単位:mg/l(Chl-a: µg/l)		
項目	層	S-3(宍道湖湖心)			N-6(中海湖心)			米子湾中央部		
COD	全層	4.3	△	平年並み	3.4	△	平年並み	4.6	△	平年並み
全窒素	上層	0.46	△	平年並み	0.33	○	良好(平年並み)	0.43	△	平年並み
全リン	上層	0.022	○	良好(平年並み)	0.025	○	良好(平年並み)	0.036	△	平年並み
Chl-a	上層	13	△	平年並み	10	△	平年並み	23	△	平年並み
塩化物イオン	上層	3,870	×	やや高い	12,000	×	やや高い	10,500	△	平年並み
	下層	4,160	×	やや高い	16,000	△	平年並み	12,300	△	平年並み
溶存酸素	上層	11.8		平年並み	10.7		平年並み	13.2		平年並み
	下層	10.4		平年並み	6.1		平年並み	9.9		平年並み

前月との比較		宍道湖湖心		中海湖心		米子湾中央部	
項目	層	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して
COD	全層	4.1	横ばい	3.6	横ばい	4.1	横ばい
全窒素	上層	0.62	下降	0.32	横ばい	0.49	横ばい
全リン	上層	0.027	横ばい	0.027	横ばい	0.048	横ばい

宍道湖の透明度は1.4mから2.7mと上昇し、かなり良好。中海の透明度は2.5mから2.1mとやや下降。米子湾の透明度は1.6mから1.7mと横ばいになっている。

【評価基準】

前年まで過去10年間(平成19年までは5年間とした)のデータについて統計処理を行い、それに基づき下記の表現とする。

1. 水質値について

平均値+標準偏差値の3倍	★	<非常に高い>
平均値+標準偏差値の2倍	☆	<かなり高い>
平均値+標準偏差値 10年間平均値	×	<やや高い>
平均値-標準偏差値	△	<平年並み> ただし、環境基準値以下の場合<良好>とする。
平均値-標準偏差値の2倍	○	<良好> ただし、環境基準値を下回らない場合は△で<やや低い>とする。 <やや低い> (塩化物イオン)
平均値-標準偏差値の3倍	◎	<かなり良好> <かなり低い> (塩化物イオン)

2. 水質変化について

前月値±標準偏差値以上、以下の変化…… 上昇、下降

前月値±標準偏差値の1/2以上、以下の変化…やや上昇、やや下降、横ばい

前月値±標準偏差値の1/2以内の変化…横ばい

注) 平均値±標準偏差値 ……全体のおよそ68.2%

平均値±標準偏差値の2倍…全体のおよそ95.5%

平均値±標準偏差値の3倍…全体のおよそ99.7%